



# ヒューストン日本商工会 Japan Business Association of Houston

## 令和3年度(2021-2022)6月度 商工会理事委員会 議事録

日 時： 令和4(2022年)6月15日(水) 12:00～13:30

会 場： 三水会センター会議室

出席者： 名誉会長、名誉会員1名、理事委員13名、正会員1名、事務局長

欠席者： 理事委員8名(会長委任7名、代理委任1名)

司 会： 桜内 政大 企画・調査委員長

### 1. 商工会会長連絡 (川上篤樹会長)

①6月1日より日本での入国制限が更に緩和された一方、米国入国のための事前PCR検査も6月12日より不要になり、両国間の往来が非常にし易くなった。引き続き感染状況には注意を払いながら、「With コロナ」での社会生活のリハビリ、ビジネスの活性化につながってほしいと思う。

②ロシアによる侵攻開始から100日間が過ぎたウクライナでは、引き続きロシア軍との戦闘が続いている。ウクライナ国民はロシアへの領土割譲を決して容認しないことから、ウクライナ政府としては戦闘を続ける可能性が高い。一方、ロシア側もプーチン大統領が勝利宣言できるまで戦闘を続けようとするところから、当面はこの紛争は続き、和平合意は容易でないと見られる。アメリカ国民はウクライナの惨状にショックを受けつつも、遠く離れた同国への高い関心は永遠に続くことはないという声もある。関心度が高まる一方のインフレ問題にも目を向けながら、引き続きバイデン大統領のウクライナ問題のかじ取りに注視したい。

③アメリカ国民の最大の関心事となっているインフレ問題については、バイデン大統領は中間選挙を見据え、各種施策の中で即効性の高そうなガソリン価格上昇の抑制に神経質になっている。OPECプラスが7月の生産枠引き上げを決めた後も原油価格の低下は一時的、限定的で、米国ガソリン価格は日々高値更新を続けており、全米の平均ガソリン価格はついに5ドルを超えた。このように、政府の施策が成果を上げていないことから、国民の不満は収まらない状況にある。ヒューストンにおいても、4月のインフレ率は前年同月比で8.5%で全米と同様高いレベルとなっており、ガソリン価格は上昇、住宅価格は賃金上昇を上回るスピードで高騰している状況となっている。FRBは利上げによってインフレ抑制を試みているが、ここに来て、アメリカ経済が景気後退期入りするであろうという認識のもと、既に各専門家の間ではアメリカ経済の減速度合いについての議論に移行しつつあるようだ。また、景気後退懸念を嫌気してここ数日、株価も大きく下落しており、金利差拡大を背景に急速に円安も進んでいることから、引き続き景気動向には注意が必要である。

④日本のアニメや日本食ブームと言われて久しい中、先週末に Katy にて Otaku Food Festival が行われた。タコ焼きやタイ焼きといった庶民派フードや日本アニメ関連グッズを紹介・販売し、盛況だったと聞いている。これに続き、6月25日と26日には NRG Center にて [Japan Food Expo](#) が、日本食の海外への販路開拓を目指す企業が集まるイベントとして開催される。相次いで、こういった日本に関するイベントがヒューストン地域で開かれることは喜ばしく、日本の文化が広がることを期待する次第である。

### 2. 総領事館連絡 (村林弘文総領事、齋藤 厚領事)

①5月24日にテキサス州 Uvalde の小学校において高校生による銃乱射事件が発生し、児童19名を含む21名が死亡した。このような事件が繰り返されるたびに連邦議会をはじめ米国内において銃規制強化の機運は高まるものの、抜本的な変化は期待できないという見方が強い。銃に関連する小さな事件は毎日のように起こっており、特に銃の所持に寛大なテキサスでは、何かあれば銃が使用されるかもしれないという前提で治安の悪い地区には近寄らず、自衛の意識を常に持っていただきたい。

②アメリカやヨーロッパなど、サル痘(monkey pox)を風土病としない複数国でサル痘ウイルスへの感染症例が確認されており、ダラス(6/7)やオクラホマ(6/13)でも海外渡航歴のある人の症例が確認された。今後、市中感染の可能性も懸念されており、注意が必要となっている。現在有効な感染予防法として、感染者や同ウイルスを有する可能性のある動物(サルやリスなどげっ歯類)との直接接触を避け、コロナ対策としても基本的に奨励されているアルコールによる手指消毒などを引き続き行うことが大切である。現在 WHO では、コロナに続いて「世界的な緊急事態」を宣言するかを検討中という報道もあるので、引き続き注視していきたい。

③6月6日、日本庭園にてロータリークラブにより寄贈された桜の植樹式が執り行われた。この植樹式は、2022年ロータリー国際大会がヒューストンで開催された機会に、日米のロータリークラブにより企画されたものである。名川特命理事には、ヒューストン市やハーマンパーク管理団体日本庭園諮問委員会との調整等につきにご尽力いただき、御礼申し上げます。

④過去一ヶ月間の査証手続きについては、火急な対応を求める照会や混乱もなく5日の営業日後に発給できており、皆様のご協力に感謝申し上げます。6月12日に外国人のツアー旅行での入国が解禁され、次は恐らく個人旅行が解禁になるかと思われるが、領事部の混雑は今後も続くと思われるところ、ご迷惑をお掛けするかもしれないが、予めご容赦いただきたい。

⑤昨日、南部テキサス州連邦下院第34選挙区の補選が実施された結果、共和党候補が民主党候補らを制して、共和党として初めて勝利した。McAllenなど国境近くの同選挙区にはもともとヒスパニック系の有権者が多く、従来は民主党の強い地盤であった。この初勝利が11月の中間選挙に向けて共和党の勢いを示唆する結果となったことから、今後の展開に注視したい。

### 3.他団体対応・日本庭園関連報告 (名川 譲 特命理事)

#### \*日本庭園寄付の計上済予算の執行について

本年度予算には、日本庭園の補修整備・日本からの庭師招聘費用のために例年通り Hemann Park Conservancy (HPC:ハーマンパーク管理団体)に対し、\$6,000(昨年度同額)の寄付を計上している。コロナの影響で、本年も含め3年継続して5月のジャパンフェスティバルと2月の庭師の日本からの招聘は行われていない状況である。しかしながら、これまでの経緯踏まえ、本年当庭園設立30周年の節目を迎えるにあたり、日米文化の象徴であるヒューストンで唯一の日本庭園について、管轄するヒューストン市と地元団体との末永い関係を引き続き築いていくことは重要な課題であると考えている。よって、商工会ミッションの一つの活動である地元への貢献として、当該管理団体に対して計上(例年)通りの寄付を行うこととする。

#### \*ターナー市長による訪日ミッションについて

2020年春に予定していたターナー市長による訪日ミッションはコロナ禍により延期されてきたが、今秋10月に実現する方向で予定されている。詳細については後日ご案内させていただくので、会員企業の皆様にもご協力をお願い申し上げます。

### 4.安全・危機管理関連報告 (竹原 優 特命理事)

6月から始まるハリケーンシーズンに向け、5月13日(金)のランチタイムに“備えあれば憂いなし”ウェビナーを開催し、多くの会員やご家族にご参加いただいた。講師には会員の小川嘉明氏と石井英理子氏をお迎えし、当地でハリケーンや大寒波の被害に遭った体験談を写真を交えて語っていただき、臨場感のある話に参加者からは非常に高い評価を得た。ガルフストリーム6月号には、同ウェビナーの報告を兼ねたハリケーン関連記事、そして総領事館による対策記事を掲載しているので、これらを参考にしてハリケーンに備えていただきたい。ガルフストリームでは、さらに7月号でウェビナー講師のお二人が安全対策として一番伝えたかった事につき対談風にまとめた特集記事、また8月号においては自然災害以外の治安関連記事を掲載する予定となっている。これらの記事や過去にすでに取り上げた関連記事は、商工会ホームページの「安全危機管理情報」や「ガルフストリーム」のページにて閲覧可能となっているので、ぜひ参照いただきたい。

### 5.委員会・部会関連事項

### ①企画・調査委員会（桜内政大 企画・調査委員長）

#### \*8月の定例講演会について

8月30日(火)、常任委員会後の14:00よりUnited Way of Greater Houstonにて定例講演会を開催する。講師には、準会員でガルフストリームの「ヘタウマ英語」シリーズ等の記事でもお馴染みの内藤博久弁護士(Moses & Singer LLP)をお迎えする。今回の講演会では、日系企業のビジネスリーダーが法律のリスクを意識しながらアメリカでビジネス判断をする際に求められる倫理観(Ethics)をテーマとし、身近にある法律トラブルを実例として挙げながらご解説していただく。詳細については、後日、事務局よりご案内を配信するので、ぜひご参集頂きたい。

### ②広報委員会（稲田徳弘 広報委員長）

#### \*ガルフストリーム読者アンケート結果報告

会報誌「ガルフストリーム」について、コロナ後の電子化の是非を含む広報誌の方向性検討のため、5月1日～31日に読者アンケートを実施した。その結果、108件(うち商工会会員が81名、家族などその他は27名)の回答を頂き、皆様のご協力に感謝申し上げます。結果の概要については、ガルフストリーム誌7月号に掲載するので、ぜひご一読いただきたい。概ね8割程度の方々から各項目で好意的な評価を頂き、電子化については継続することに「賛成する」という回答が84%となった。今後、人気の高い記事やリクエストの多かったカテゴリーの記事の重点化や新規開設を、編集委員会にて検討する。電子化継続についてはアンケート結果に基づいて編集委員会にて検討の上、川上会長ともご相談させていただきながら7月の理事委員会にて報告し、ご意見を集約の上、8月の常任委員会にて最終的な承認を頂けるように進める。

### ③文化委員会（鈴木 一 文化委員長）

#### \*ピクニック関連報告

過去に使用していた会場が使用不可となったため、次年度のピクニックに向け安全に開催できる新しい会場を只今調査中である。開催時期については、準備の期間を考慮に入れ、来年春か秋を想定している。2020年に業者に支払い、繰り越してきた経費の\$2427.80は、大半が返金不可となっている。次年度以降に同じ業者を採用すれば活用できる可能性もあるが、新会場がこうした業者を受け入れるかは現時点ではわからないことから、今年度の会計処理については、今後会計幹事と相談することとする。

### ④スポーツ委員会

#### \*第572回テキサス会「総領事杯」ゴルフコンペ（林 辰徳 物資・化学品部会長）

次回のテキサス会ゴルフコンペは、9月18日(日)にOakhurst Golf Clubにて「総領事杯」として開催する予定である。詳細については、後日、事務局より開催案内を配信予定。奮ってご参加いただきたい。

### 6. 事務局関連事項（小林浩子 事務局長）

#### \*三水会センター夏季休館期間について

7月4日から9日までの期間、三水会センターは夏季休館期間となり、商工会事務局、図書館、補習校事務局スタッフは不在となる。

#### \*今年度のテキサス州六者交流会について

先月、今年の六者交流会の主催者であるエルパソ日本人会より、諸事情により通常プログラムでの開催が難しくなったことを理由に11月の交流会を再延期する旨、連絡が入った。これを受け、5月度理事委員会では話し合いの機会をもち、その内容をエルパソ事務局へ報告した。その結果、エルパソ側では今年の開催につき再検討し、当初の予定通り11月にプログラムを縮小(懇親会のみ)した形で開催する方向で準備を進めることになったという連絡を先週受けた。会員の皆様には、開催日程等が確定次第、事務局より詳細につきご連絡申し上げます。

#### \*会員消息

本日現在の会員数は、名誉会員10名、正個人会員752名(正団体会員数:111社)、準会員45名で、総会員数は807名となっている。

以上